

平成 28 年 12 月 9 日

三島市長 豊岡 武士 様

中郷温水池公園整備に係る植栽計画への「要望書」

特定非営利活動法人グラウンドワーク三島
理事長 小松 幸子

1. 中郷温水池の親水整備事業の経緯と生態系の現況

中郷温水池の親水整備事業は、源兵衛川の水辺再生事業の一環として造成されたものであり、農林水産省の水環境整備事業を活用して、静岡県が平成 2 年度から施行したものです。従前のコンクリート造りの護岸を大幅に改変し、水辺には散策路と緑地帯を配置し、池底には動植物の多様性を確保するための「多自然型工法」を施し、中洲を 2 か所造成することによって、多種多様な鳥類の生息地の確保を図るなど、先進的な自然工法を駆使した「エコロジーアップ」をコンセプトとして建設されました。

現在では、延べ 100 種類以上にも及ぶ多種多様な動植物の生息地（大ビオトープ）として、豊かな水辺自然環境が再生・復活し、隣接する三島市立南小学校や南中学校による実践的な環境教育の場や市民の憩いの場、農業施設の機能を越えた、「地域資源・環境資源」として、多目的に利活用されています。

これらの水辺再生の成果を受けて、中郷温水池は、平成 22 年の農林水産省「ため池百選」に登録されたのに加え、平成 28 年 11 月には、源兵衛川の関連施設として「世界かんがい施設遺産」にも登録されました。

その一方、平成 20 年には、外来種ホテイアオイが大繁殖して水面を覆いつくすなど、甚大な環境悪化が発生し、市民・NPO・行政などの人海戦術により、2 トントラック数十台分のホテイアオイの除去作業によって環境改善を図ったこともありました。このように、残念ながら、中郷温水池の生態系は、現在においても依然として脆弱で流動的な状況にあるといえます。

2. 修景整備工事の方向性

平成 26 年度に三島市が策定した基本構想や、今回提示された植栽計画図では、公園利用を主に据え、園芸種の導入などが計画されています。しかし、源兵衛川の流域では、20 年以上にわたり、市民、市民団体、当法人などが、「ふるさとの川づくり」に向けた、外来種の除去や在来種の移植・保全などの生物多様性保全活動に、継続して取り組んできているところでもあります。

そこで、本修景整備にあたっては、源兵衛川や中郷温水池の環境デザインのコンセプト

といえる「エコロジーアップ」の規範に沿って、これら市民などの取り組みを取り入れていただきたいと考えます。具体的には、ガーデンシティみしまの中核を成す「サンクチュアリ・大環境教育園」として、潜在自然植生の導入などによる自然環境・生物多様性のさらなる向上と拡充、市民公園としての憩いの場づくりの両立を強く要望します。

3. グラウンドワーク三島が考える問題点・課題と要望

以下、当該地の環境や整備方法などについて、グラウンドワーク三島が問題点・課題だと考えている点を示します。

- ・ この度の源兵衛川の「世界かんがい施設遺産」登録などの成果は、「エコアップ」をコンセプトとして、市民・NPO・企業・行政のパートナーシップによる環境改善活動によって、在来の自然景観と自然生態系を再生・復元させた結果といえます。
- ・ 源兵衛川は、第1ゾーン～第8ゾーンでゾーニングされており、第8ゾーンに位置する中郷温水池もその一部であり、楽寿園から連なる緑の回廊（コリドー）として上流域との一体感が必要となります。
- ・ 本植栽計画は、これまでの自然植生の再生や自然生態系の復活というテーマに反して、生態系に全く配慮されていません。生物多様性の再生・復元にも寄与しません。
- ・ 中郷温水池は、昆虫にとっても大変貴重な静岡県東部でも数少ない止水域です。
- ・ 止水性の昆虫（トンボ、ゲンゴロウ類、ガムシなど）にとって、水域と陸域が連続した植生は大変重要です。本計画では、そのような点が全く配慮されていません。
- ・ 本植栽計画では、1日のうちで水域・陸域を利用する昆虫が生息できません。
- ・ 境川・清住緑地では、上記の提案が実現されているので、絶滅危惧種のアオハダトンボの生息地になっています。参考とすべきと考えます。

グラウンドワーク三島としては、特に以下の点への対応を強く要望します。

- ・ 我が国のふる里としての風景を、自然を、後世に伝えなければ、本物の自然を見る目が失われます。説明板でそのことをきちんと伝えながら、潜在自然植生に基づいた国産の樹木、低木、草本を中心に、この緑地で我が国本来の庭の素晴らしさを創ることを要望します。なお、一部の園芸品種は、我が国の園芸史の所産でもあるので植栽は可能です。
- ・ 外国産の種での公園づくりは慎むべきです。多くの公園が、外国産の、花が色鮮やかなら何でも良い、人が喜ばば何でもいい、という種を優先的に導入しており、そのような公園があふれています。このことは、我が国固有の自然、風景（景観）、自生種を失い、またふるさとを失うことにつながるもので、厳に慎むべきであると考えています。

以上、グラウンドワーク三島としての中郷温水池公園整備に係る植栽計画については、「エコロジーアップ」を前提とした、源兵衛川のコンセプトとの統一感ある公園づくりを実施することを強く要望します。